

男女共同参画 評価シート

事業番号	担当課	29	総務課	61	教育委員会
男女共同参画事業名		「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心とした広報・啓発		教育の場におけるセクシュアル・ハラスメント防止・救済に向けた取り組みの推進	
事業概要		配偶者等からの暴力に対する正しい理解を地域社会に広め、その防止に向けた住民の取り組みを促進するとともに、被害者が周囲の無理解によりさらに傷つき、暴力の実態が潜在化することがないようにするため、「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11月）にパープルリボン運動等を行い、各種広報・啓発を進めます。		教育関係者への服務規律の徹底、被害者である児童生徒等、さらにはその保護者が相談しやすい環境づくり、相談等に適切に対処できる体制の整備、被害者の精神的ケアのための体制整備等を進めます。	
当年度実績	実施内容	組合長行き文書や広報誌にてパープルリボン運動の啓発を行った。また、以前から庁舎内のお手洗いに、相談窓口の記載がある「DM相談ナビ」カードを設置している。		管理職向けのコンプライアンス研修会、管理職が各学校で行う研修において、ハラスメントに関する知識及び対応に係る内容を扱い、該当職員に対して服務規律の徹底、迅速な対応について指導を行っている。また、児童の心身にかかるアンケートを実施し、細かな情報の収集に努めている。	
自己評価		B		A	
来年度実施計画	計画内容	引き続き広報・啓発を行い、暴力被害に苦しむ方のいない地域社会づくりに努める。		コンプライアンス研修会は近隣町村と継続して行いつつ、実態に応じた指導を適宜行う。	
今後の課題と目標		暴力についての正しい理解をさらに広げるために、継続的な広報・啓発を行う。また、今回行ったアンケート結果から被害を受けた経験がある方もいらっしまったので相談窓口の案内を広く行っていく。		ハラスメントは受け手の解釈によって起きうることについての認識を深められるよう、常時情報発信を行うようにする。また、国内・県内等で起きた事案を踏まえ、統合型校務支援システム等で情報を発信し、アクシデントにつながるインシデントの撲滅を目指す。	
会からの意見		暴力に対する正しい理解をもっと広めて頂きたい。相談窓口の数は多くあっても良いと思うが、どこが窓口になるのかの周知を広報等で行ったほうが良いと思う。委員への相談でもいいのではないかと思う。		研修会や情報収集によりハラスメント防止に努めていただいておりますが大変良いと思う。	

男女共同参画 評価シート

事業番号	担当課	73	福祉保健課	112	地域振興課
男女共同参画事業名		母子保健活動の推進		外国人が安心して暮らせる環境の整備	
事業概要		妊娠・出産や人工妊娠中絶等の悩みを抱える者に対して、訪問指導等の母子保健事業を活用した体制の整備を図ります。		関係機関と連携し、言語の問題等、地域社会の中で孤立しやすい外国人が、性別や、その生活形態にかかわらず、尊厳を持った日常生活を送ることができる環境の整備に努めます。	
当年度実績	実施内容	保健師と委託助産師で、妊婦全員に対して妊娠20週頃に妊婦訪問を実施し、また産婦全員に対して産後2ヶ月までに産婦訪問を実施し、妊娠～産後までの悩みの解消に努めている。		福祉保健課にて母子手帳の外国語版を発行するという対応はなされている。それ以外は人数も少ない事から全体での整備ではなく個別での対応を行っている。	
自己評価		B		C	
来年度実施計画	計画内容	引き続き妊婦訪問および産婦訪問を実施する。		ニーズを把握しながら安心して暮らせる環境整備に取り組んでいく。	
今後の課題と目標	妊産婦の不安軽減のため、訪問指導を続けていく。委託助産師と共に、より良い妊産婦支援の方向性を検討していく。		多様な分野にまたがる事であるので、相談窓口としてどのような形態が望ましいのかを検討していく。		
会からの意見	産婦人科の減少による不安解消のために活動されており良いと思う。令和2年以前は、妊産婦さんに保健センターに来て頂いて相談を受けていたが、職員側が自宅へ訪問する方法へ変更したということで、妊産婦さんの負担軽減になって良いと思う。		外国人の方向けの環境整備について事例が出るのは少ないかもしれないが、いざ出てきたときのために、職員側で対応できる人材(言語等)の確保が必要ではないかと思う。		

男女共同参画 評価シート

事業番号	担当課	130	福祉保健課
男女共同参画事業名		男性を対象にした育児への参画のための支援	
事業概要		学校や地域など様々な場で、男女が協力して子育てに関わることについての学習機会の提供を行います。また、子育て親子の交流の場や子育てに関する情報の提供（母子手帳交付時に父親に対して「パパのイクメン手帳」を交付）を通じ、妊婦のサポートと、男性の子育てへの関わりの支援・促進を図ります。	
当年度実績	実施内容	母子保健活動で保健師と助産師が母親の産前産後訪問を行っているなかで、一緒にパートナーの子育て等での助言や相談業務を行っている。また、今年度始まったファミリーサポート事業で男性への参加も呼びかけを行っている。	
自己評価		B	
来年度実施計画	計画内容	引き続き、男性に対して、育児への参加を呼びかけ、いろいろな勉強会や男性の育児に対するの考え等聞く機会を設けたい	
今後の課題と目標		男性に対して、育児や女性に対するの考えや不安など、気軽に相談できる窓口ができるようにしたい。	
審議推進委員会からの意見		夫の育児参加は昔に比べると進んでいると思うが、まだまだ足りないと思う。現代は共働き夫婦が多く、重要な課題であると思うので更に力を入れていただければと思う。	